島々清しゃや

本調子

四中上中工　合乙四中上中四　しまじまか
上　合中工　中上中　工　五　七　五工〇中工五七六　いしゃやかいしゃぬぐしくにうぐわじよ
五　五工五　七八七　四五工七五工上　合中工合中工　まえのたんぼによゆうひあ
上　合上中工中上四　工乙四　上合中　工七五　工中　かくもえてよサーユイヤサーはるで
合　合乙四　上　四　工　四工合乙四中上　中工合乙　くさやくしろいけむりのけむりのかいしゃ
四中上中四

一、島々清（かい）しゃや
城（ぐしく）に御願所（うぐわんじゅ）よ
前の田んぼによ
夕陽赤く燃えてよ
　サーユイヤサー
畑（はる）で草焼く白い煙の
煙の清（かいしゃ）

二、村々清しゃや
福木（ふくぎ）に石垣よ
皆（みんな）待ってたよ
夏の祭りすんでよ
　サーユイヤサー
通（かよ）た道々香（かば）しゃ
九年母（くにぶ）の
九年母の清しゃよ

三、白浜清しゃや
朝凪夕凪（あさどぅりゆうどぅり）
よ
潮は満潮よ　磯で千鳥泣いてよ
　サーユイヤサー
帰るサバニを招くアダンの
アダンの清しゃよ

四、みやらび清しゃや
紺地（くんじ）にミンサーよ
もつれもつれたよ　細い恋の糸によ
　サーユイヤサー
ホロリと落したあつい涙の
涙の清しゃよ